

大阪市立大学同窓会(全学同窓会)役員会 議事メモ

全学同窓会事務局

◆日時 平成29年5月1日(月)18:00~20:00

◆場所 文化交流センター 小セミナー室

◆出席 会長:児玉、副会長:(有)牧野 (理)市村 (工)黒山 (医)生野 (生)岸本 (看)〈白田代理〉朽木
(創)喜多 監事:人見 小川 「WOLLと一般社団法人化」では学長特別補佐:斯波、全学会報
「冊子化」では広報委員:羽原 小林 事務局:植田、齋藤、上村、渡邊 <欠席> (有)尾山 <敬称略>
(別紙:「役員・委員会委員名簿」参照)

1、研究開発支援合同会社 WOLL と全学同窓会の一般社団法人化について 資料1

全学同窓会の一般社団法人化の申し入れは白紙に戻す。

理由:全学同窓会の一般社団法人化については法的課題(利益相反的に見られる恐れ)、WOLL への風評被害の懸念および実際の社団法人化へのハードルの高さ(各同窓会の法人化が必要等)が判明。

一方、WOLL の現況は有力 OB 企業を含めバランスの取れた業種の出資者が相当数確保出来た。

以上から出資のために無理をしてまで一般社団法人化する必要は無くなったと、判断。

但し、全学同窓会は WOLL とは組織的に直接、関係はないが、今後とも WOLL に協力していく、こととする。

2、H28 年活動報告及び収支報告、H29 年度活動計画案及び予算案検討 資料2&資料2・別紙

1)H28 年活動報告及び収支報告については、別紙資料の通り承認された。

2)H29 年度活動計画案及び予算案についても別紙資料の通り承認された。

(1)「名簿管理システム」の充実強化について(重点3テーマの一つ)

まず、有恒会会員名簿システムを活用する形で、懸案であった理学部、生活科学部、看護系、創造都市研究科の各同窓会の名簿システムを完成させる。(早期に、割安にて実現可能。4 同窓会は必要経費を負担)以降、各支部、OCUSA 等各クラブ・部 OB 会の名簿データも取り込み、最終的には大学の名簿システムを含めた「総合名簿管理システム」構築をめざし取り組む。(大学も取り組みには前向き)

尚、本件の取組ロードマップをまとめ開示し、推進することとする。

(2)新支部創設拡大推進について

大和川以南の「南大阪支部」設立総会は7/1実施予定(大阪府下については地域を細分化し、新支部創設を推進する)更に、静岡、宮崎支部創設にも取り組む。

(3)全学会報「冊子化」について(資料2, 別紙3)

①冒頭、児玉会長から以下のお話有り。

府大との統合については、着々と進められており、同窓会は大きな影響を受ける。「新大学の同窓会」は育つのに、時間がかかる。それまでは、現状の同窓会が継続し、大学の支援を続ける、続けざるを得ないと考える。同窓生への情報伝達はHP等「WEB化」が今後、主流になって行くと思うが、10~15年は今後とも「紙ベース」の会報は残る。このような中で共通的な会報、一本化・冊子化した会報は必要と考える。

(医学部の「仁瀨」や工学部会報等専門分野的会報は残る)

②羽原広報委員から、過去4回の広報委員会検討まとめの報告が有り、検討の結果、以下の通り決定。

- 「有恒会報」に合流した形の「冊子化」を行う。表題は「大阪市立大学同窓会会報」呼称は「有恒」とする。

表題の形(案) 大阪市立大学同窓会会報

～ 有恒 ～

<意見>工、黒山:工学部理事会ではいい印象ではなかった。「大阪市立大学同窓会報」という名前は必要。会報が厚くなることは感心しない。専門分野の情報掲載のものがやはり欲しい。
(全学の共通のものを取り上げるのが全学同窓会報、専門分野はそれぞれの同窓会報が担当の形)

生、岸本:「有恒」だと有恒会に吸収されてしまうとの、危惧がある。対応として、デザインを一新する等イメージ一新を行う必要あり。

横断的な各同窓会の情報も掲載することには意義があると思う。

医、生野:全学会報誌を出すことには問題はない。「有恒」ではなく、新しい名称ならば「いいのになあ」と思う。(医学部の皆さんは喜ぶ。投票で決定するとすると「有恒」となってしまう)

看、朽木:冊子化(合冊)については全体としていいと思う。呼称については「大阪市立大学同窓会」という「冠」がついておれば、「有恒」でもいいのでは。(歴史もあることだし。尚、「有恒」の意味をもっとPRし、理解してもらうようにすればいいのにと考える)

- 発行回数、主要仕様は下記とする。

年2回発行、サイズはA4、オールカラー(頁数は52程度、広告掲載分含む、本文は48)、部数は5万部

- 印刷担当業者は(株)日本プリンティングとする。(3社見積結果より、決定)

※送付費用負担および具体的発行時期についてはペンディングとし、次回役員会(10/16～10/18 予定)にて検討・決定する。(印刷代含め発行費用は全学同窓会負担、送付費用は各同窓会負担が基本方向案だが送付費用負担、厳しいとの意見有り)

それまでの間に、各同窓会さんにて送付費用負担中心に内部検討を行い、意見をまとめておいてもらいたい。<児玉>

<意見>工、黒山:年1回の工学部会報発行時に全学会報を同封、送付することはやむなし、が工学部理事会の意見。送付区分をどうするのか検討する必要あり。(会費未納者も含め全員に送付するのか、会費納入者のみに送付か等)

監、小川:各同窓会がそれぞれ送付区分・数量を決定すればいいのでは。

3、その他 資料3

- 1)「一号館前庭のワシントン椰子並木伐採、整備」の件、報告(別紙①)

※植樹後60年経過、高さ20mを越え、寿命を迎えており、倒木の危険性あり。事故リスク回避のため、近々、伐採(6月上旬迄に)を行う予定の旨、大学より事前報告有り(4/12)

(大学として 4/13 の役員会にて決定済、5/8 の部局長連絡会后、関係方面へ周知予定)

2) 植物園協会開催(6月) 寄付の件、寄付状況等報告(別紙②)

※寄付状況(4/27時点): 合計 20 件(個人 17、企業・団体 3) 金額 68.2 万円

3) 今後のスケジュール(支部総会開催日時等)(別紙③)

次回「役員会」は 10 月開催予定(11/3 ホームカミングデー時、開催の総会の前に実施)

4) その他

- ・29 年新入生同窓会費納入確認業務(4/7) 時、使用パネル代、費用分担お願いの件

合計 12,960 円、有: 6,480 円、理・工・生・医: 各 1,620 円(使用机数で分担お願い)

(別途、各同窓会事務担当に詳細説明・分担金支払いを要請します)

- ・「同窓会バッジ」各同窓会総会等にて頒布促進お願い(別紙)

- ・大阪港開港 150 周年関連(別紙)

※次回役員会は、10 月 16 日ー20 日で調整。監査は、10 月 11 日(10 時) 決定

以 上